

マザアスニュース 第17号

ひだまり

2000年7月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/萱野 彰一郎



ちぎり絵「あじさい」(入居者の作品)

施設のあるべき姿

在宅サービスセンター次長 田中 洋一

このたび高齢者在宅サービスセンターに新しく着任致しました田中です。今回は、ごあいさつを兼ねて、センターの業務とあるべき姿をご紹介申し上げてみたいと思います。

高齢者在宅サービスセンターの主な内容は、通所サービス課、訪問サービス課と大きく2つに分かれます。通所サービス課は主にデイサービス(入浴、送迎含む)、配食サービス、機能訓練事業からなり、生活相談員、介護職員、理学療法士、作業療法士、看護職員(看護婦)がそれぞれ専門の立場から、ご家族との信頼関係の強化をはかりつつ高齢者の介護に最善をつくしております。入浴及び配食サービスの希望者も日毎に増加しており、特

に配食サービスに関しては、栄養士が毎日の献立、カロリー等を考え、食べやすいよう配慮しながら調理しております。

訪問サービス課は、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションからなり、保健婦、社会福祉士、介護福祉士及びケアマネージャーがそれぞれの立場から、介護に関するご相談、訪問看護及びヘルパーサービスを行っております。

ぜひ、各専門の相談員にお気軽にご相談いただき、ご本人、ご家族とも安心して当施設をご利用いただきますよう、お待ち申し上げます。

マザアスのデイサービス

—— 日中、施設に通うことで、家庭での「閉じこもり」状態を解消しましょう。 ——

介護が必要な高齢者のためにできた介護保険がスタートして3ヵ月が経ちました。利用者の希望・意向を考え、自立支援・予防ケア・QOL（生活の質）の向上を目的に介護サービス計画（ケアプラン）が作成され、各種サービスが提供されています。今回はそのサービスの中の「通所介護サービス（デイサービス）」についてとりあげてみました。

家庭で生活しているお年寄りには、体が弱かったり痴呆症状があると、なかなか外に出られず「閉じこもり」の状態になりがちです。デイサービスセンターを利用すれば介護サービスを受けられるだけでなく、人とのふれあいによる心の活性化も期待できます。また、ご家族が安心して休養できるのも大きなメリットです。介護保険導入前とサービス内容は変わりませんが、自治体の要介護認定で「要支援」以上の認定を受けた方が対象となります。

デイサービスセンター・マザアス氷川台

利用時のあらゆる場面を活用して日常生活動作の維持を図り、また、グループ活動や趣味活動を通して生きがいのある生活づくりを援助します。

痴呆性高齢者デイホーム・湧泉の郷 (マザアス氷川台内)

利用することで生活のリズムを作り、特徴的行動（問題行動）へのアプローチなど、利用者の情緒の安定や社会性の維持が図られるよう援助します。



1日の流れ＜マザアス氷川台の例＞

9:30～10:30	到着・健康チェック
11:00	あいさつ・朝の会
11:30	体操
12:00	昼食・休憩
13:30	プログラム活動
14:30	おやつ
15:00～16:00	帰宅

◆ 健康チェック

毎回、到着時に血圧・体温・脈拍のチェックをします。日頃の身体状況の把握と、健康管理に努めています。

◆ プログラム活動

習字・革細工・はたおり・ネット手芸・園芸・音楽・料理・陶芸といった趣味活動、レクリエーション、誕生会などのほか、季節ごとの行事があります。

◆ 氷川台では入浴もおこなっています。

老人デイサービスセンター・マザアス大門

ここでは、「要支援」以上の認定を受けた方のなかでも、嚥下障害がない方、車いすを使っていない方、痴呆の症状があっても日常生活は自立されている方を対象に、デイサービスをおこなっています。

また、要介護認定で「自立」と認定されても、予防的に支援が必要な方のために、

東久留米市独自の事業である「生きがいデイサービス」を用意しています。送迎・食事付きの半日のプログラムです。「寝たきり」や「ぼけ」の原因ともなる「閉じこもり」を解消するためにも、ぜひご利用ください。

声の欄

梅の花がまだ固いつぼみをつけていた2月、入居者2人でスタートしたグループホーム「たきやま」は、桜の季節を迎え新緑の季節となり、梅の木も青い大きな実をつけ9人のたきやまファミリーとなりました。ゆっくり、のんびり、笑いの絶えないホームです。どうぞ遊びにいらして下さい。

遠藤 明子

ありがとう、サンキュー、ダンケシェン、メルシー…。なぜか外国語が飛び交うグループホームたきやま。笑いあり、涙ありの毎日です。これからも支え合いながら頑張りたいと思います。

作田 喜子

グループホームで暮らして頂くということは、どういうことなのか。(誤解を恐れずに言えば)単なる家政婦ではなく、痴呆症ケアのプロとして、アセスメントに基づくケアプラン、そしてその経過をきちんと形に残して、利用者へのより良いケアの向上を更に研究することこそ専門職!それが利用者のため!

佐久間 美苗



<切り絵 作田 喜子>

私は素直に生きること、素直に生きる人が好きです。これが、私が高齢者が好きな理由です。自分の「損」「得」などに気を取られず笑顔には笑顔で返せる素直さが通じるからです。「あなたの笑顔は、私の元気」という言葉通りに、たきやまの皆様からも元気をもらっています。いつもありがとう。

金 炳順

プロ意識をもちながら、マイペースでがんばります。

山口 英明

働きがいのある職場です。外の散歩で花を見ては感動し、食事は一緒になって料理し、細やかな反応が感じられて生活感が得られ、家の延長のような気がしています。

山口 靖子

ずっと憧れていたグループホームで働くことができて幸せな気持ちで一杯です。入居者といくらお話しても時間を気にしなくて良いこと、その方の人生をかいま見て共感したり、感動したりすることができること。そして何

より人生の先輩であるお年寄りから様々な事を教えて頂けることがこのグループホームの魅力だと思っています。大好きな皆さんと一緒に、これからも穏やかで幸せな時間を過ごせて行けたら…。と願っています。

田平 麻子

職員より



<ひとりひとりを大切に……>

10年前、日本の福祉の現状をとらえた1本の記録映画にふれ、この街と自分の老いゆく姿を重ねながら私の素人のままの視点は点から面へと変わっていった。

期待と関心を寄せていた“グループホーム”の一員となった今、当たり前のことを実践しようと手腕を発揮していくスタッフに囲まれながら様々に表情が引き出されていく入居者と過ごす毎日は、苦心の多い労作であると同時に“日々の暮らしを丁寧に味わう”幸せも生み出している。時には娘、時には嫁、たいがいは気が付くと居る大きな人…やむを得ない事情により傍に居ることのできないご家族に代って、共に分かち合い味わう日々を大切にしていきたい。

姫井 邦子

台所に立っていると外からAさんの声「今晚大葉使う?」「冷奴にしようか」「みそ汁の青味ないから葱引いて来よう。」青々しい葱を刻む音。これは“たきやま”の日々の生活の一場面。普通の家族で感じる幸せを感じています。主婦歴50年、60年活躍した現役時代に戻ります。若い職員は「ここに居ると料理教室に行かなくてすむ。」と言っています。家庭で介護されていた御家族にとってもグループホームという「良い距離」に居て気持ちにゆとりができたようです。たきやまは入居が始まって3ヶ月、入居者、職員、家族、地域の方、皆仲良く道路まで笑い声が聞こえる明るい“家”になりました。

田辺 和代

マザアスの平成11年度決算が、次のとおり理事会で承認されました。

収支計算書総括表（自 平成11年4月1日 至 平成12年3月31日）

収入の部

（単位：千円）

科 目	合 計	法 人 本 部	東久留米・氷川台	日野・多摩川苑
措置費収入	511,522		266,602	244,920
補助金収入	742,636	166,403	357,490	218,743
寄付金収入	15,610	13,512	141	1,957
繰入金収入	15,163	11,404	3,759	
利用者負担金	216		216	
雑収入	26,452	2,877	7,800	15,775
積立金戻入	3,888	3,888		
設備資金借入金収入	216,817	216,817		
当期収入合計	1,532,304	414,901	636,008	481,395
前期繰越収支差額	4,236		4,236	
収入合計	1,536,540	414,901	640,244	481,395

支出の部

科 目	合 計	法 人 本 部	東久留米・氷川台	日野・多摩川苑
事務費支出	933,031	21,065	528,992	382,974
事業費支出	179,348		83,279	96,069
引当金繰入	4,236	4,236		
元利償還金	152,857	152,857		
繰入金支出	15,164	12,867		2,297
雑支出	0			
固定資産取得費	0			
積立金繰入	2,592	2,592		
当期支出合計	1,287,228	193,617	612,271	481,340
当期収支差額	245,076	221,284	23,737	55
次期繰越収支差額	249,312	221,284	27,973	55

〆〆〆〆 栄養課だより 〆〆〆〆

施設も丸六年目で大きな変革の渦（介護保険）に巻き込まれました。これは完成期に入りつつあった利用者の方への食事全般をすべての面で見直さざるをえない激震でした。この余波はまだまだおさまってはいないのですが、いかに利用者の方に食事を楽しんで召し上がっていただけるか、栄養課全員で努力の日々です。あわせて利用者の方の状態の変化による食形態の変更、見直しも急務です。治療食についても充実させていかなくてはと考えています。

また、今マザアスの食事のありようを地域に発信しているのが配食サービスです。治療食はもとより形態もできるだけ利用者の方の

要望に応じられるようにしています。

食事面での心配、悩み、疑問等がありましたら介護支援専門員、あるいは相談員にお気軽にお話ください。栄養課は大歓迎です。

栄養士 長野 いづみ

編集後記

介護保険がスタートして、広報紙のあり方も改めて見直す必要があると感じながら、今回の「ひだまり」をつくりました。スタッフが入れ替わり、今までとは少し違った方法も取り入れています。編集方針を十分に検討したとはいいがたく、反省するところが多々あります。今後も読者の立場を第一に考えた誌面づくりを目指しますので、ぜひご意見、ご感想をお寄せください。 萱野 彰一郎

特別養護老人ホーム マザアス東久留米

Tel 77-7261
Fax 77-7500

デイサービスセンター マザアス氷川台

Tel 77-7263
Fax 77-7500

ヘルパーステーション マザアス氷川台

Tel 77-7260
Fax 77-7500

訪問看護ステーション マザアス氷川台

Tel/Fax
70-1740

東久留米市東部 在宅介護支援センター

Tel/Fax
73-9996

グループホーム たきやま

Tel/Fax
77-1525

老人デイサービスセンター マザアス大門

Tel 70-0065
Fax 70-8024